

保護水面管理事業調査

佐藤直三・原子 保

発表誌名

昭和55年度保護水面管理事業調査報告書

抄 録

老部川におけるサクラマス親魚の溯上，産卵数及び稚魚の発育等は，ほぼ安定しており将来とも一定の資源量を維持することが可能であると思われるが，それが海での漁獲にどのように反映するのかは，現在のところ明らかではない。

吾妻川は，親魚の溯上がほとんど認められないため，稚魚を大量に放流し密漁防止等に対して積極的な河川管理をおこなう必要がある。

川内川は，支流の八木沢に親魚及び産卵床が弱干認められるが，底棲動物の現存量が非常に少ないので，川における資源量も限られたものになると思われるが，今後の調査で明らかにしたい。